

# 江戸時代から現代までの様々な「はかり」が観覧できる 「計量展示室」を公開しています！ ～はかりの歴史を知ろう～



夏休み親子計量教室キャラクター「トーマス・スケール」

展示室には、昔使われていた  
珍しいはかりや資料があるよ！  
見に来てね！



計量展示室が計量検査所（川崎市川崎区）から川崎市産業振興会館8階（川崎市幸区）に移転しました。  
ここでは、江戸時代の「ものさし、ます、はかり、古文書（写し）」から現在使用されている計量器（計約170点）  
を展示しています。

また、9階展示コーナーにも歴史的なはかりを展示しています。

市ホームページ



二次元コードからホームページにアクセスして、  
はかりの詳しい説明を見ることができます。



## 主な展示品



質量基準器



米穀用はかり



文久ます

### 【アクセス】

JR川崎駅から徒歩10分 京急川崎駅から徒歩7分

### 【所在地】

〒212-0013

川崎市幸区堀川町66番地20

※お越しの際は、電車・バスをご利用ください。

### 【観覧時間】

月・火・木・金（9：00～12：00/13：00～16：00）

※祝日・年末年始を除く



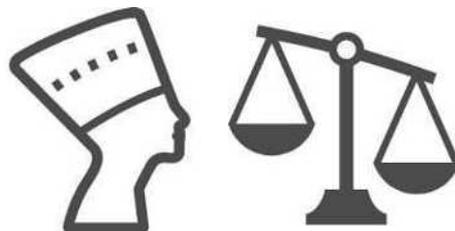
# 「計量」って何だろう？

計量は、産業経済の発展はもとより、生活環境の改善にとっても基礎となるもので、私たちの社会生活や産業活動に大きく関わり、生活から物流・消費に至るあらゆる分野で重要な役割を果たしています。

長さや重さなど「もの」の量を人間が「はかる」ことを始めたのは今から1万年も前のこととされています。

昔は、月の満ち欠けで時間をはかったり、手や足の長さを使って、ものの長さをはかっていたそうです。

地域によって、重さや長さの単位もバラバラでしたが、現在では世界共通の単位として、重さはキログラム、長さはメートルを使っています。



## くらしの中の身近な計量器



私たちの日常生活の色々なところで「はかる」ということは関わっています。

はかる道具である「計量器」には、重さをはかる以外にも目的に合わせて色々な種類があります。

計量カップ



電力量計



タクシーメーター



## 計量検査係のお仕事

計量検査係は、皆様のお家のお近くにあるスーパーなどに行って、売られている商品の重さが本当に正しいかを確認する検査をしています。他にも、電気メーターや水道メーター、ガソリンスタンドのメーターなど私たちの生活に関わりの深い計量器が有効期限内に正しく使われているかの検査も行っています。

また、各種イベントを通じて正しい計量知識の普及や啓発活動を行っています。

問合せ先：川崎市経済労働局消費者行政センター計量検査係

住所：〒210-0006 川崎市川崎区砂子 1-8-9 川崎御幸ビル 5階

TEL：044-200-5640

Mail:28syohi@city.kawasaki.jp